

令和3年4月12日

報道機関 各位

熊本大学

熊本大学デジタルアーカイブシンポジウム

「災害の教訓を次世代につなげるために―災害遺構に学ぶ―」を開催します

この度、熊本大学デジタルアーカイブシンポジウム「災害の教訓を次世代につなげるために―災害遺構に学ぶ―」を下記のとおり開催しますので、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしくお願いいたします。

なお、取材を希望される方は、事前に <お問い合わせ先> に記載のメールアドレスまでお申し込みいただくようお願いします。

記

- 日時・場所：令和3年4月30日（金）
災害遺構看板除幕式 13:00～13:15 熊本大学工学部1号館前
シンポジウム 14:00～16:00 熊本大学工学部百周年記念館
- 申込：参加費無料 要事前申込
※別紙チラシのQRコードから4月23日（金）17時までにお申込ください。
- 内容：（1）基調講演「災害史料と現在、そして未来」
熊本大学永青文庫研究センター長 教授 稲葉継陽
（2）パネルディスカッション「災害遺構・史料からの学び」
登壇者 熊本大学学長 小川久雄
熊本大学永青文庫研究センター長 稲葉継陽
熊本大学デジタルアーカイブ室長 竹内裕希子
コーディネーター 熊本大学熊本創生推進機構 田中尚人

※会場にお越しいただく際は、必ずマスクをご着用ください。

※シンポジウムは、ZOOM配信によるオンラインハイブリッド形式で行います。

※詳しくは別紙チラシをご参照ください。

<お問い合わせ先>

熊本大学

くまもと水循環・減災研究教育センター

TEL：096-342-3490

Email:terada-lab@kumamoto-u.ac.jp



災害の教訓を次世代につなげるために

— 災害遺構に学ぶ —

熊本大学はこれまで、被災地にある国立大学として、学生とともにデジタルアーカイブひのくにに災史録の構築と活用を行ってきました。熊本地震から5年目を迎える令和3年4月、熊本大学の被災状況や災害から得た教訓を伝える「災害遺構看板」が学内に設置されます。その除幕式を行うとともに、これを機に、熊本地震からの復興を振り返り、私たちが得た教訓を次世代につなげるための防災教育について話し合うシンポジウムを開催します。

日時 令和3年4月30日(金)
14:00~16:00 (開場13:30)

会場 熊本大学工学部百周年記念館
※ZOOM配信 オンラインハイブリッド形式

申込 参加費無料 要事前申込
※右のQRコードから4月23日(金)17時までにお申込みください



お申し込みQRコード
Googleフォーム

1

基調講演

「災害史料と現在、そして未来」

熊本大学永青文庫研究センター長 教授 稲葉継陽

2

パネルディスカッション

「災害遺構・史料からの学び」



登壇者

熊本大学
新学長
小川久雄



登壇者

熊本大学永青文庫
研究センター長
稲葉継陽



登壇者

熊本大学
デジタルアーカイブ室長
竹内裕希子



コーディネーター

熊本大学
熊本創生推進機構
田中尚人

「災害遺構看板」の除幕式は令和3年4月30日(金)13時から
熊本大学黒髪南キャンパス工学部1号館正面西側で行います

【問い合わせ】 熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター
〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
TEL/FAX: 096-342-3490 E-mail: terada-lab@kumamoto-u.ac.jp

主催：熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 共催：熊本大学永青文庫研究センター